

第9分科会 ①「美術の授業における図書館のサポート：読書感想画の取組を中心に」

② 復活！！図書委員交流会

司会者 土屋久子（松本県ヶ丘高等学校）

1 発表の概要

① 「美術の授業における図書館のサポート：読書感想画の取組を中心に」

宮下由夫（長野西高等学校・美術） 田中和彦（長野西高等学校司書）

高校時代に印象的な読書体験をして欲しい。イメージから作品を作る課題に最適。審査員の授業者と違った評価が受けられるということから、授業で取り組み応募することにした。油絵の具での模写（真似て描く）、風景画（見て描く）、読書感想画（自分の気持ちの中のイメージを描く）の3段階で進めた。司書が題材となる本選びと感想画のイメージに合う資料探し、応募の説明・手続きをサポートした。

一年目、生徒たちは感想の抽象的なイメージがなかなか出来なくて、本の中の一部分の絵になってしまうことが多かった。二年目、校歌のイメージ画練習などを行った。イメージに合う資料探しで難しい要求が出るようになり司書も探すのに苦労した。結果2年続きで最優秀賞に選ばれた。

今後の課題 ①課題図書発表が遅くて応募が難しい。→県事務局から要望を出す。②スマホの画像を利用してよいのか？→ 出典が明らかになっていないと審査の段階ではじかれてしまう。出来れば図書館の資料を使って欲しい。との願いもある。



② 復活！！図書委員交流会

下伊那地区高校図書館研究会：高坂弥恵（阿智高等学校司書） 知久富枝（阿南高等学校司書）

2014年度、17年間途絶えていた図書委員交流会を復活させた。日程調整・会場・内容等を決めるのは難しかった。日程は夏休み中の平日半日と決め、会場は初年度事務局の阿智高校は遠方であることから、交通の便を考えて飯田市内の学校にした。以後2年は市内校で開催した。内容は自己紹介を兼ねておすすめ本の紹介、活動報告と意見交換、クラフト講座を行った。おすすめ本はデータを集めて「下伊那支部のおすすめ本」として各校に配布した。各校活動報告は持ち帰っ

て、各校の活動の参考にしている。クラフト講座は楽しく出来て各学校ですぐに使える物を考えた。各校行事の制作物の展示も行った。

最初は職員主導で計画・実践したが、今年度は今までの記録を参考に生徒が自主的に運営できるようになってきた。今後、生徒の自主性をどう伸ばしていくかが課題である。

初めのうちは乗り気でなかった生徒たちも終了後は「他校と交流できて良かった。」等の感想を寄せた。

分科会参加の義務の先生：「義務にはそういった交流会はない。やってみたいが難しい。」

